

大臣認定と異なる製品を販売していた製品差異リスト

ユニチカ設備技術株式会社

平成22年10月6日

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成19年3月14日	EA-0233	<p>【ボルト・ナット】認定仕様はボルト長さ50mmであるが、製品は長さ40mmであった。</p> <p>【ケース補強材】認定仕様は口40×40×1.6mmであるが、製品は口30×60×1.6mmであった。</p> <p>【ガイドレール】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400,SGHC又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p> <p>【座板 (本体)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400,SGHC又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p> <p>【座板 (芯材)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400)厚さ2.3mm又はSGHC又はSGHC相当鋼が使われていた。</p> <p>【ケース】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400,SGHC又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p> <p>【カバー】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400,SGHC又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p>	約240棟 (共同住宅、事務所等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン (準耐火構造壁・床付き)	平成19年3月14日	CAS-0328	【ボルト・ナット】認定仕様はボルト長さ50mmであるが、製品は40mmであった。 ※上記1項目以外は、EA-0233の【ケース補強材】を除き、EA-0233と同じ	約220棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン/複合防火設備(準耐火構造壁・床付き)		CAS-0329	【ボルト・ナット】認定仕様はボルト長さ50mmであるが、製品は40mmであった。 ※上記1項目以外は、EA-0233の【ケース補強材】を除き、EA-0233と同じ	約20棟 (共同住宅、事務所等)
両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0327		【ボルト・ナット】認定仕様はボルト長さ50mmであるが、製品は40mmであった。 ※上記1項目以外は、EA-0233の【ケース補強材】を除き、EA-0233と同じ	1棟 (共同住宅)	
ユニチカ設備技術(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成19年7月19日	EA-0242	<p>【ケース】認定仕様は150×120以上mmであるが、製品は230×120mmであった。</p> <p>【ガイドレール】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400)が使われていた。</p> <p>【座板 本体】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400)が使用されていた。</p> <p>【座板 芯材】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400)が使用されていた。</p> <p>【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。</p> <p>【浮上り防止ストッパー】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)であった。</p>	約220棟 (共同住宅、事務所等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン (準耐火構造壁・床付き)	平成19年11月12日	CAS-0359	【ケース】認定仕様は150×120以上mmであるが、製品は230×120mmであった。 ※上記1項目以外はEA-0242と同じ	約220棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0358	【ケース】認定仕様は150×120以上mmであるが、製品は230×120mmであった。 ※上記1項目以外はEA-0242と同じ	2棟 (共同住宅)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂コーティングシリカクロス製スクリーン(避難口付き)	平成14年1月21日	EA-0021	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(化粧材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141 SS400)厚さ3.2mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【幕板】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様は配管用ステンレス鋼管であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板及びステンレス鋼管又は溶融亜鉛めっき鋼板であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス棒鋼(JIS4303, SUS304)直径6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)厚さ2.0mmであった。</p>	約1,050棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂コーティングシリカクロス製スクリーン(避難口付き)	平成14年5月13日	CAS-0001	<p>【ブラケット】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141,SPCC)厚さ3.2mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mmであった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141,SPCC)厚さ2.3mm、長さ57mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>※上記2項目以外はEA-0021と同じ</p>	約90棟 (共同住宅、事務所等)
	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付き)	平成14年8月22日	CAT-0008	CAS-0001と同じ	実績なし
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付き)／複合防火設備	平成14年9月5日	CAS-0010	CAS-0001と同じ	約960棟 (共同住宅、事務所等)
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年5月1日	EA-0032	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302,SGHC又はSGHC相当鋼)であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141,SS400)厚さ3.2mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【幕板】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様は配管用ステンレス鋼管であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板及びステンレス鋼管又は溶融亜鉛めっき鋼板であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス棒鋼(JIS4303, SUS304)直径6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)厚さ2.0mmであった。</p>	約30棟 (共同住宅、病院等)
		防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年11月26日	CAS-0018	EA-0032と同じ
	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		平成14年8月23日	CAT-0009	EA-0032と同じ	実績なし
	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付き)／複合防火設備		平成15年2月28日	CAS-0038	EA-0032と同じ	約30棟 (共同住宅、病院等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン	平成15年5月8日	EA-0077	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302,SGHC又はSGHC相当鋼)であった。 【巻き取りシャフト】認定仕様は直径114.3mmであるが、製品は139.8mmであった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。	20棟 (事務所、 店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン ／複合防火設備	平成15年8月12日	CAS-0081	【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302,SGHC又はSGHC相当鋼)であった。 【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが製品は4.5mm又は6.0mmであった。 ※上記2項目以外は、EA-0077の【巻き取りシャフト】を除き、EA-0077と同じ	6棟 (事務所、 店舗等)
		両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン		CAT-0079	CAS-0081と同じ	実績なし
		両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン ／複合防火設備	平成16年11月24日	CAS-0170	CAS-0081と同じ	14棟 (事務所、 店舗等)
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン	平成15年9月3日	EA-0091	【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(本体)】認定仕様はJIS G 3101,SS400であるが、製品はJIS G 3302,SGHC又はSGHC相当鋼の部分があった。 【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302,SGHC又はSGHC相当鋼)であった。 【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmまたは6.0mmであった。 【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。 【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mm及び厚さ4.5mm、長さ180mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。 【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。	約620棟 (事務所、 店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン ／複合防火設備	平成15年12月12日	CAS-0098	【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(鋼帯)(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302,SGHC又はSGHC相当鋼)であった。 ※上記1項目以外はEA-0091と同じ	約620棟 (事務所、 店舗等)
両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン		CAT-0096		CAS-0098と同じ	実績なし	

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成16年1月9日	EA-0110	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(本体)】認定仕様はJIS G 3101,SS400であるが、製品はJIS G 3302, SGHC又はSGHC相当鋼の部分があった。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は溶融亜鉛めっき鋼板(鋼帯)(JIS G 3302,SGHC又はSGHC相当鋼)であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mm又は6.0mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mm及び厚さ4.5mm、長さ180mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。</p>	4棟 (事務所、店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成16年5月28日	CAT-0137	EA-0110と同じ	4棟 (事務所、店舗等)
ユニチカ設備技術(株) ユニチカガラスファイバー(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成16年8月10日	EA-0134	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【座板(開口部)】認定仕様にはない溶融亜鉛めっき鋼板が使われていた。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mm又は6.0mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼であった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mm及び厚さ4.5mm、長さ180mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。</p>	3棟 (共同住宅等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成16年11月24日	CAT-0168	EA-0134と同じ	実績なし
ユニチカ設備技術(株) ユニチカ(株)	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)／複合防火設備	平成17年7月13日	CAS-0190	EA-0134と同じ	3棟 (共同住宅等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカ(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン (避難口付)	平成17年12月1日	EA-0181	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様は SGC400であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【座板(本体)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302, SGHC又はSGH400)が使われていた。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【座板(座板化粧)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品は SGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【座板化粧カバー】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC,SGHC相当鋼又はSGH400)が使われていた。</p> <p>【座板化粧カバー受け】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mm及び厚さ4.5mm、長さ180mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。</p>	約350棟 (事務所、 店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン (避難口付)	平成17年12月1日	CAT-0205	EA-0181の【ブラケット】を除き、EA-0181と同じ	約 20棟 (工場、 倉庫等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン (避難口付)／複合防 火設備	平成17年12月1日	CAS-0207	EA-0181と同じ	約330棟 (事務所、 店舗等)
ユニチカ設備技術(株) ユニチカ(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン (避難口付)	平成18年3月27日	EA-0199	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【座板 (開口部)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板 (SGHC, SGHC相当鋼又はSGH400)が使われていた。</p> <p>【座板 (芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【ブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが、製品は4.5mmであった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC,SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【座板化粧カバー】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC,SGHC相当鋼又はSGH400)が使われていた。</p> <p>【座板(化粧カバー受け)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mm及び厚さ4.5mm、長さ180mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p> <p>【小扉ストッパー】認定仕様はステンレス鋼板(JIS G 4305)直径6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ2.0mmであった。</p>	3棟 (事務所、 店舗)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン (避難口付)	平成18年6月21日	CAT-0282	EA-0199の【ブラケット】を除き、EA-0199と同じ	1棟 (事務所)
		両面エチレン酢酸ビ ニル系樹脂塗装シリ カクロス製スクリーン (避難口付)		CAS-0284	EA-0199の【ブラケット】を除き、EA-0199と同じ	2棟 (店舗等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成18年3月27日	EA-0197	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC又はSGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【座板(開口部)】認定仕様でない溶融垂鉛めっき鋼板(SGHC、SGHC相当鋼又はSGH400)が使われていた。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC、SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC、SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGHC、SGHC相当鋼又はSGH400であった。</p> <p>【座板化粧カバー】認定仕様でない溶融垂鉛めっき鋼板(JIS G 3302, SGHC, SGHC相当鋼又はJIS G 3302,SGH400)が使われていた。</p> <p>【座板化粧カバーコーナーユニット】認定仕様でない溶融垂鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC,SGHC相当鋼又はJIS G 3302,SGH400)が使われていた。</p> <p>【座板化粧カバー受け】認定仕様は一般構造用圧延鋼材 規格(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mm及び厚さ4.5mm、長さ180mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p>	19棟 (店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成18年6月21日	CAT-0286	EA-0197と同じ	3棟 (店舗、工場)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)		CAS-0288	EA-0197と同じ	16棟 (店舗等)
ユニチカ設備技術(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成20年4月3日	EA-0257	<p>【ガイドレール(補強材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。</p> <p>【座板(開口部)】認定仕様でない溶融垂鉛めっき鋼板(SGHC、SGHC相当鋼又はSGH400)が使われていた。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。</p> <p>【カバーケース】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。</p> <p>【煙返し】認定仕様はSGC400であるが、製品はSGH400であった。</p> <p>【座板化粧カバー】認定仕様でない溶融垂鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGH400)が使われていた。</p> <p>【座板化粧カバーコーナーユニット】認定仕様でない溶融垂鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGH400)が使われていた。</p> <p>【座板化粧カバー受け】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ1.6mmであるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)厚さ1.5mmであった。</p> <p>【丁番】認定仕様は冷間圧延鋼板(JIS G 3141)厚さ2.3mm、長さ57mm及び厚さ4.5mm、長さ180mmであるが、製品は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)厚さ4.5mm、長さ180mmであった。</p>	13棟 (店舗等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)	平成20年6月9日	CAT-0405	EA-0257と同じ	1棟 (店舗)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン(避難口付)(準耐火構造壁・床付き)		CAS-0406	EA-0257と同じ	12棟 (店舗、工場等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年5月10日	EA-0034	【ガイドレール】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【座板 芯材】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【シャフトベース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。 【シャフトケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【幕板】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。	約350棟 (共同住宅、病院等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成14年7月19日	CAS-0007	EA-0034と同じ	約350棟 (共同住宅、病院等)
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年2月7日	EA-0066	【ガイドレール】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【座板(芯材)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【シャフトベース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管 (JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。 【シャフトケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。 【幕板】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。	約60棟 (共同住宅、病院等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年5月8日	CAS-0050	EA-0066と同じ	約60棟 (共同住宅、病院等)
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	特定 防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年7月7日	EA-0084	【ガイドレール】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)であった。 【座板(芯材)】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)であった。 【ケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)であった。 【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。 【カバー】認定仕様のない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)厚さ1.6mmが使われていた。	約580棟 (共同住宅、病院等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年9月3日	CAS-0083	EA-0084と同じ	約470棟 (共同住宅、病院等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成15年9月12日	CAT-0090	【ガイドレール(化粧カバー)】認定仕様のない熱間圧延鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302,SGHC)が使われていた。 ※上記1項目以外はEA-0084と同じ	15棟 (共同住宅、病院等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン ／複合防火設備	平成15年9月3日	CAS-0084	CAT-0090と同じ	1棟 (共同住宅)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン ／複合防火設備	平成15年9月19日	CAS-0091	CAT-0090と同じ	約90棟 (共同住宅、病院等)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株) ユニチカグラスファイバー(株)	防火設備	両面アクリル系樹脂塗装ガラスクロス製スクリーン／複合防火設備	平成16年5月28日	CAS-0139	<p>【ガイドレール】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。</p> <p>【座板(本体)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。</p> <p>【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。</p>	約60棟 (共同住宅、事務所等)
ユニチカ設備技術(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成17年2月21日	EA-0161	<p>【ガイドレール】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。</p> <p>【座板(本体)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。</p> <p>【座板(芯材)】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)又は溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z22,SGHC)が使われていた。</p> <p>【ケース】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)であった。</p> <p>【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。</p> <p>【軸受けブラケット】認定仕様は厚さ3.2mmであるが製品は6mmであった。</p> <p>【カバー】認定仕様でない熱間圧延軟鋼板(JIS G 3131,SPHC)が使われていた。</p> <p>【浮上り防止ストッパー】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)であった。</p>	約960棟 (共同住宅、事務所等)
	防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン／複合防火設備	平成17年4月7日	CAS-0181	EA-0161と同じ	約190棟 (共同住宅、事務所等)
両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン		CAT-0182		EA-0161と同じ	4棟 (共同住宅、事務所等)	
両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン／複合防火設備		平成17年12月1日	CAS-0210	EA-0161と同じ	約740棟 (共同住宅、事務所等)	
両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン			CAT-0209	EA-0161と同じ	約20棟 (共同住宅、事務所等)	